

【フリュー】トレンド調査 2023 : 女子高生のスポーツ・運動に関する意識

令和の女子高生が好きなスポーツランキング第1位は
 観戦するなら「野球」体験するなら「バドミントン」

FuRyu トренд調査2023

女子高生の
 スポーツ・運動に関する意識

好きなスポーツランキング

観戦するなら

取り組むなら

1位	野球
2位	バレーボール
3位	バスケットボール
4位	サッカー
5位	バドミントン
5位	ダンス

1位	バドミントン
2位	バスケットボール
3位	バレーボール
4位	ダンス
5位	テニス

プリントシール(以下、プリ)機業界シェア No.1*のフリュー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:三嶋隆、以下 フリュー)は15~18歳の女子高校生世代(以下、女子高生)を対象に、社内調査機関・フリュー『ガールズ総合研究所』にて「スポーツ・運動に関する意識調査」を実施いたしました(回答者:521名)。

2023年10月9日は「スポーツの日」。陸上競技やバスケットボール、ラグビーなどの大会が連日テレビで放送され、スポーツの話題で盛り上がっている昨今、女子高生たちのスポーツ・運動に関する意識はどのようになっているのか。自社独自のネットワークによるアンケートから得られた結果と考察について、以下の通りお知らせいたします。

*...約94% 2022年夏 自社調べ

<<トピックス>>

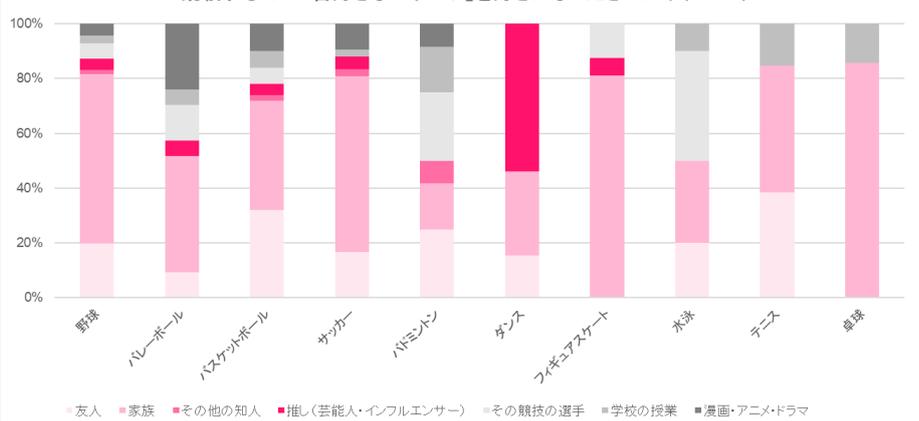
- 「好きなスポーツランキング」第1位は、観戦するなら「野球」、取り組むなら「バドミントン」
 好きになるきっかけは「家族」のほか「推し」や「漫画・アニメ・ドラマ」なども
- 女子高生の運動頻度「週1回以上運動している」は約60%、「体育の授業以外運動しない」も30%超
 所属部活動により運動習慣が二極化か。人気の運動系部活は「バスケットボール」「バレーボール」「バドミントン」
- 女子高生が日常的に行う運動は「筋トレ」「自転車」「部活」
- 運動といえば体育祭。一番の思い出はやっぱり「リレー」!
 女子高生は競技だけではなく思い出作りも重視。お揃いの手作り応援グッズ片手に写真撮影を楽しむ傾向も

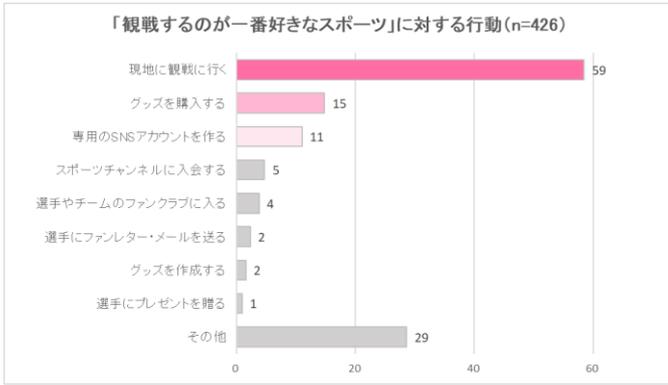
■女子高生が「好きなスポーツランキング」第1位は、観戦するなら「野球」、取り組むなら「バドミントン」
 好きになるきっかけは「家族」のほか「推し」や「漫画・アニメ・ドラマ」なども

観戦するのが1番好きなスポーツTOP10(n=521)

	%	
1位	野球	15.2
2位	バレーボール	14.6
3位	バスケットボール	13.1
4位	サッカー	9.2
5位	バドミントン	3.6
5位	ダンス	3.6
7位	フィギュアスケート	3.3
8位	水泳	3.1
9位	テニス	2.9
10位	卓球	2.7

「観戦するのが1番好きなスポーツ」を好きになったきっかけ(n=425)



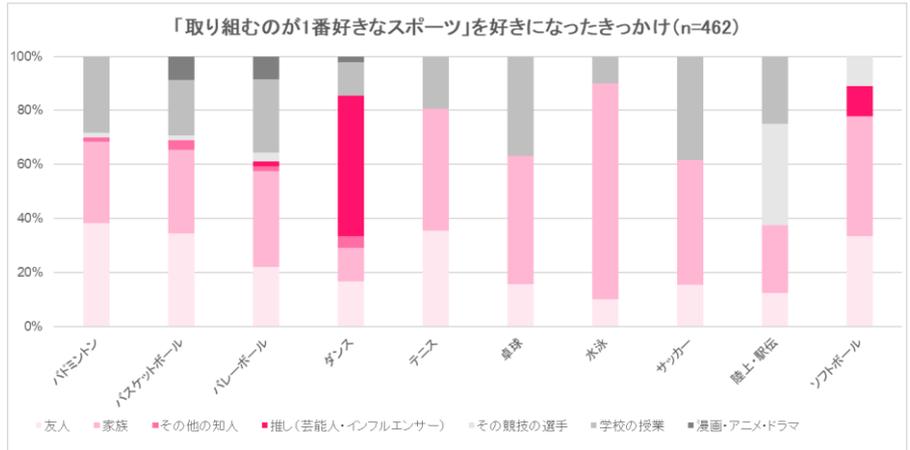


“観戦するのが一番好きなスポーツ”は、1位「野球」、2位「バレーボール」、3位「バスケットボール」でした。そのスポーツを観戦するのが好きになったきっかけは、全スポーツ共通で“家族”が多い傾向。また「バレーボール」は“漫画・アニメ・ドラマ”、「ダンス」は“推し(芸能人・インフルエンサー)”が他スポーツに比べ多くみられました。

どのようにスポーツ観戦を楽しんでいるかという質問に対しては、約60%が「現地に観戦に行く」と回答。そのほか「グッズを購入する」、「専用のSNSアカウントを作る」「そのスポーツの専用チャンネルに入会する」など様々な方法でスポーツ観戦を楽しんでいるようです。

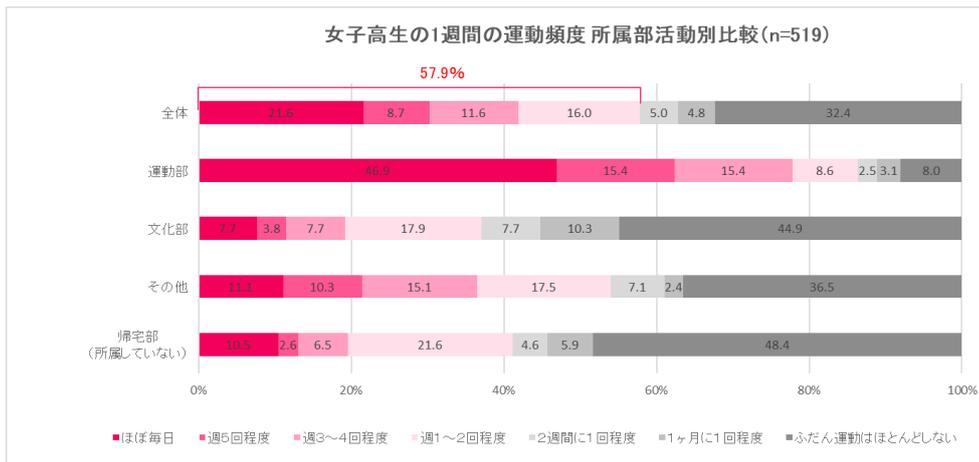
取り組むのが1番好きなスポーツTOP10(n=521)

順位	スポーツ	%
1位	バドミントン	14.8
2位	バスケットボール	13.2
3位	バレーボール	12.9
4位	ダンス	12.5
5位	テニス	7.7
6位	卓球	5.4
7位	水泳	5.2
8位	サッカー	2.9
8位	陸上・駅伝	2.9
10位	ソフトボール	2.3



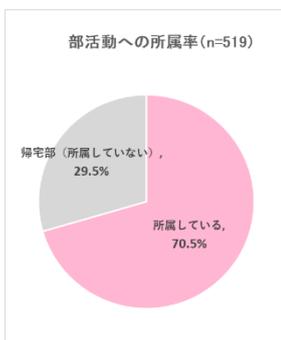
“取り組むのが一番好きなスポーツ”は、1位「バドミントン」、2位「バスケットボール」、3位「バレーボール」でした。好きになったきっかけについては「学校の授業」の割合が“観戦するのが好きなスポーツ”よりも高い傾向に。また「ダンス」については“観戦”同様に「推し(芸能人・インフルエンサー)」をきっかけに挙げる方が多く、特に K-POP アイドルの名前が多くあがりました。

女子高生の運動頻度「週1回以上運動している」は約60%、「ふだん運動はほとんどしない」も30%超 所属する部活動により運動習慣が二極化か。人気の運動系部活動は「バスケットボール」「バレーボール」「バドミントン」



所属している部活動 (n=240)

順位	部活動	%
1位	バスケットボール部	10.8
2位	バレーボール部	10.4
2位	バドミントン部	10.4
4位	吹奏楽部	9.6
5位	テニス部	8.8
6位	茶道部	6.3
7位	陸上部	5.4
8位	ダンス部	5.0
9位	卓球部	4.6
9位	演劇部	4.6



1週間の運動頻度を尋ねたところ、「ほぼ毎日」と回答した方は21.6%で、週1回以上では約60%でした。一方で「ふだん運動はほとんどしない」という回答も32.4%と高い結果となりました。

所属する部活動別に運動頻度をみると、運動部は約50%が毎日運動をしていると回答しました。一方で文化部は約45%、帰宅部(所属していない)は約50%が「ふだん運動はほとんどしない」と回答。女子高生の運動習慣の有無は、所属する部活動によって二極化していることが見受けられます。また部活動への所属率は70.5%。人気の部活動は、1位バスケットボール部、2位は同率でバレーボール部とバドミントン部でした。

